

令和3年11月16日

日立理科クラブ通信

No. 160



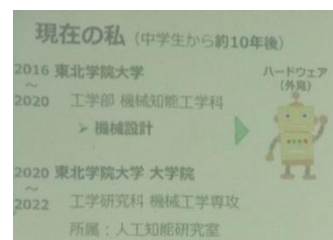
日立理科クラブ

理数アカデミー キャリア学習会

11月13日(土)、教育プラザで行われた午後の部のキャリア学習会を紹介します。この学習会は、理数アカデミーの先輩に「アカデミーと現在&私の夢」、中2の受講生に「私の夢」、理数アカデミーの新人講師には「若き日の夢・経歴と皆さんへのメッセージ」を発表していただき、受講生の自己成長や将来計画を考える一助としました。県外からも多数の中学生がリモート参加していました。



平沢中2009年度卒のOG(お茶の水大学卒業)は、システムエンジニアとして通販サイトの制作会社に勤務しています。居心地の良い環境を求めて何度か転職したことや、システムエンジニアとしての勤務内容などを話していました。大久保中2011年度卒のOG(旭川医科大学在学)は、中学時代にドクターが活躍するテレビドラマにあこがれ、医者になる夢に向かって勉強中だという内容が短い時間の中で伝わってきました。泉丘中2011年度卒のOB(広島大学大学院在学)は、生体内でのタンパク質の構造を研究していて、将来はその研究分野で仕事をしたいと目標を語っていました。台原中2012年度卒のOB(京都大学大学院在学)は、素粒子物理学の研究に従事していて、世界の事象を数学的に記述し、究極的には世界の根幹を再現したいという将来の夢を熱く語っていました。司会の講師から、日立からノーベル賞を取る先駆者になってほしいというエールに、笑顔になりました。泉丘中2012年度卒のOB(東北学院大学大学院在学)は、中学時代の夢がエンジニアで、それを実現するために工学研究科機械工学を専攻しています。将来は自分の会社を立ち上げ、ロボット開発に従事したいということです。久慈中2015年度卒のOB(長岡技術大学在学)は、学校の関係でオンライン参加できず、ビデオレターで近況を語るとともに後輩たちへのメッセージを寄せていました。茨城中2016年度卒OB(東京大学在学)は、理数アカデミーで、因数分解の問題とモーターの原理の仕組みの授業に思い出があることを懐かしく話していました。また、テーマ研究の「物の壊れ方をとらえる」をJST(科学技術振興機構)で発表したことがとても自信につながったということです。日立一高付属中2017年度卒OB(ハーバード大学在学)は、なぜ、アメリカの大学を選んだのか、大学の様子やアメリカの大学の特徴などをマサチューセッツ州・ケンブリッジから伝えてきました。ここまでの発表は全員Zoomによるリモートでの参加でしたが、最後の発表者の日高中2011年度卒OB(マイクロソフト社勤務)は、この会場に来て、情報システム科学の勉強をしていたことや現在の勤務の内容などを話していました。

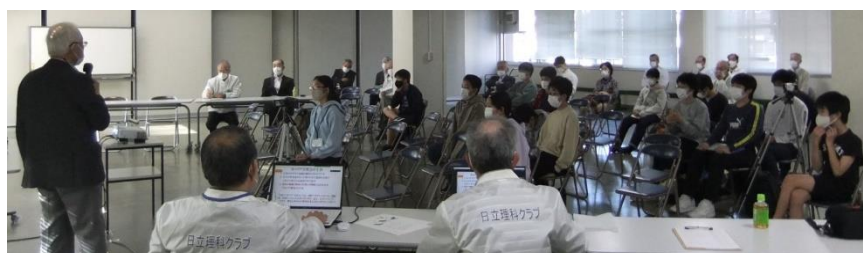


受講生(中学2年)の将来の夢は、システムエンジニア・設計士・大学教授・科学者・アナウンサー(声を使う仕事)・建築士・社会に貢献できる仕事・レゴビルダー・自分のやりたいことを見つけること・医師、など様々です。その職業実現のために、自分年表や努力目標を掲げて力強く発表していました。きっとこの夢は、先輩の現実の活躍の発表を視聴し、自分も実現させたい・実現できるという意欲につながったのではないかと思います。

理数アカデミーの講師の発表は、子どものころの夢、職業観や実際の職歴、受講生へのメッセージなど、一つ一つが心に響くような内容で、受講生の将来の進路に大きなインパクトを与えたのではないのでしょうか。

《主なメッセージ》

- ・ひとりでは解決できない、仲間と協力を
- ・疑問は素直に考える
- ・技術、経験、知識はライフワークに
- ・何事もプラス思考
- ・伸び悩んでいる時が一番成長している時
- ・自分のやりたいことがやれる時代
- ・人との出会いを大切に
- ・自分の好きなことを見つける



午前の部では、自由研究コースの受講生による自由研究成果発表が行われました。